

2026 年 7 月 17 日

《研究課題名》

The Circulatory risk in Communities Study の既存情報を用いたデータ解析研究

《研究対象者》

The Circulatory risk in Communities Study の研究実施計画書内の研究対象者のみが、本研究計画におけるデータ解析の対象者です（研究対象地域は以下参照）。

1963 年以降に秋田県井川町にお住まいの方（お住まいだった方も含む）

1964 年以降に大阪府八尾市南高安地区にお住まいの方（お住まいだった方も含む）

1981 年以降に茨城県筑西市にお住まいの方（お住まいだった方も含む）

1969 年から 2005 年まで高知県野市町（現：香南市）にお住まいだった方

1964 年から 1987 年まで秋田県本荘市石沢地区（現・由利本荘市）にお住まいだった方

1971 年から 1987 年まで秋田県本荘市北内越地区（現・由利本荘市）にお住まいだった方

研究協力をお願い

医薬基盤・健康・栄養研究所において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、The Circulatory risk in Communities Study (CIRCS) として、各自治体の同意のもと、住民に対する保健事業の一環として過去 60 年以上にわたり蓄積されたデータならびに今後新たに得られる健診結果・生活習慣データ、疾病発症データ、および死亡・医療・介護に関連する保健医療福祉等事業データを匿名化して解析し、生活習慣病などの発症把握を継続して行い、得られた各種データを基に日本人の生活習慣病などの実態と動向の把握・危険因子の解明、及び予防対策の方法論の開発と評価等を行います。本研究では、対象となる方へ直接ご説明して同意はいただきず、本お知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方は、情報の研究利用を拒否することができます。

対象となる方の匿名化した既存情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下のとおりです。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究への情報の利用を希望されない場合、または本研究に関するご質問は下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

The Circulatory risk in Communities Study の既存情報を用いたデータ解析研究

《研究期間》 理事長許可日～2031 年 3 月 31 日

《研究責任者》 医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養疫学・政策研究センター 岡田知佳

《意義》

本研究では、特定の集団を長期間追跡することで疾病の発症リスクや予防法を科学的に検証するこ

とが可能となり、栄養・食生活・腸内細菌叢と健康・疾病との科学的根拠を社会へ還元していくことが期待されます。

医薬基盤・健康・栄養研究所では、国民の健康寿命延伸に資する科学的根拠を創出する基盤的・開発的研究として、栄養・食生活及び身体活動と健康に関する基礎的及び疫学的研究をライフステージの相違や健康の社会的決定要因等にも着目して行っています。また、腸内細菌叢などの腸内環境に着目して、生活習慣病やフレイル等の新たな予防法・重症化予防法の開発に資する研究も行っています。

《目的》

本研究では過去 60 年以上にわたり蓄積されたデータならびに今後新たに得られる健診結果・生活習慣データ、疾病発症データ、及び死亡・医療・介護に関連する保健医療福祉等事業データを用いて、日本人の生活習慣病の実態と動向の把握・危険因子の解明、及び予防対策の方法論の開発と評価等を行うことを目的とします。

（２）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は、近畿大学を中心に、大阪健康安全基盤研究所、筑波大学、順天堂大学、福島県立医科大学が研究実施計画書に基づいて顕名での生体試料・情報の収集を行っている The Circulatory risk in Communities Study を基盤として、匿名化した既存情報の提供を受けデータ解析を行います。匿名化した既存情報を解析し、日本人の生活習慣病などの実態と動向の把握・危険因子の解明、及び予防対策の方法論の開発と評価等を行います。

医薬基盤・健康・栄養研究所では、栄養・食生活を曝露要因として、健康・疾病、特に生活習慣病リスクとの関連を明らかにするための栄養疫学研究を行います。また、NIBN JMD (Japan Microbiome Database) に蓄積された腸内細菌叢、食事・生活習慣、健康関連指標等の既存データを用い、CIRCS で得られた既存情報と共通項目に基づき標準化し、プール解析を実施します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

生活習慣や健康状態に関する質問票やアンケート

健診データ、体組成やフレイル、腸内細菌叢など特殊検査のデータ

脳卒中・虚血性心疾患の発症データ

死亡・医療・介護に関連する保健医療福祉等の事業データ など

《利用又は提供を開始する予定日》 理事長許可日

① 《提供する情報の取得の方法》

本研究は、The Circulatory risk in Communities Study (CIRCS) として、各自治体の同意のもと、住民に対する保健事業の一環として過去 60 年以上にわたり蓄積されたデータならびに今後新たに得られる健診結果・生活習慣データ、疾病発症データ、および死亡・医療・介護に関連する保健医療福祉等事業データを収集しています。

② 《情報の提供方法》

提供は、確実に受取人の手元に届く仕組み（簡易書留など）や堅固なセキュリティ機能を有するファイル転送システムを用いて行います。また電子媒体で提供する際は、暗号化やパスワードを付与す

るなど、第3者が容易に閲覧できないように措置を講じます。

③ 《情報の「提供元機関・提供先機関・利用機関」の機関名と研究責任者等》、

近畿大学医学部公衆衛生学教室 HP (The Circulatory risk in Communities Study の既存情報を用いたデータ解析研究) のとおり。

https://www.med.kindai.ac.jp/pubheal/research/CirculatoryRisk_in_communities_study.html

《情報の管理について責任を有する者》

医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 中村 祐輔

(3) 個人情報等の取扱いについて

医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報を削除し、番号などに置き換えた分析用データ（健診結果データ・問診項目データ、保健事業資料、循環器疾患発症登録調査等で得た解析用データ）の提供を受けるため、個人を特定できる情報は扱いません。なお、提供元では、必要な個人情報（氏名、生年月日、住所、個人を特定するための番号など）については各機関で厳重に管理され、本研究事業以外の目的に使用されることはありません。

(4) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

(6) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（7）にご連絡ください。

(7) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・政策研究センター 岡田知佳

住所：〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町 3-17 J.NODE Lab 健都

電話番号：06-6384-1120

メールアドレス：eiken-nutepi※nibn.go.jp （送信時には※を@に変えてください）